

協議会議事録

1 会議名	第3回酒々井町空家等対策協議会
2 開催日時	平成30年3月13日(木) 午後1時30分～
3 開催場所	酒々井町役場 分庁舎2階 第2多目的室
4 出席者	西口議長、小坂町長、白井委員、渡辺委員、田村委員、小坂委員、坂上委員、久保委員、小早稲委員、大宮委員(オブザーバー)、宮田委員(オブザーバー)
5 次第	1.開会 2.町長挨拶 3.議事 酒々井町空家等対策計画(案)について 4.その他 5.閉会
6 審議結果の概要	空家等対策計画(案)について議事を行った。
7 開催状況	 

8 議事内容	
アジア航測	酒々井町空家等対策計画（案）の変更修正点の説明 (議事開始)
西口議長	ご質問、ご意見はあるか。
大宮委員	小中学校は別として、高校に通学する利便性を考えて酒々井町に住まわれている方が多い。駅前に銀行等があり、いくつもの駅があり、利便性に富んでいることから、まさにコンパクトシティといえる。もう少し酒々井町の良さをアピールしていきたい。計画書の空家バンクは、見やすくわかりやすい内容になっているので活用していきたい。空き家バンクを活用しながらでも酒々井町に住み続けることが望ましい。
宮田委員	酒々井町には20年以上住んでおり、住みやすく、交通の便もよいと感じている。今住んでいるところは、成田寄りで中心部から少し離れているが、最近70歳代のご主人の死亡により、ご婦人の一人暮らしから地域活動ができないような状況が発生した。そのようなことが増えている。さらに、子供も少なくなっている。この計画は子育て支援の取り組みについても取り上げていることから、行政として子育て支援に取り組む者として感謝している。
西口議長	空家問題は少子高齢化の縮図でもある。酒々井町も人口が減少している。人口が減少する中で早く対策を打たなければならない。
坂上委員	この報告書を見せていただいて、丁寧な作りになっており、さっと入り込めて違和感を感じない。 空家等対策の一番は所在不明の建物を減らすことが大切で、これに向けてわれわれ地域住民が深く関わりながら進めていくことが大切と考える。関わり方が問題でどこまで関われるかということもあるが、自治会活動を通じて取り組んでいくことで可能になるのではないかと思われる。
西口議長	現在は管理が大変なので、建物の所有者になり手がいない。
白井委員	内容的には概ねいいものができたと思われる。空き家バンクで他の市町村でどれくらい活用しているかということ、頻繁での活用はなく、登録はあるけどその先はなかなか進まないという印象を持っている。空家バンクはきめ細かな情報が必要であり、利用しやすい、使いやすい空き家バンクであればいいと思う。 空き家バンクの運用に併せて、子育て支援に力を入れていきますと言ったような印象が付くと人が集まってくると思われるので、そのような発信ができていいのではな

渡辺委員	<p>いか。</p> <p>一戸建ての空家であれば、リフォームをすれば使えそうな空家等もある。リフォームが安価でできればいいが。リフォームを活用した空家等対策が必要ではないか。現在、東酒々井に住んでいるが、リフォームをして新築と変わらない住宅が見受けられる。</p>
事務局	<p>町ではリフォームの補助金はある。</p>
西口議長	<p>町として、リフォーム業者の育成や、安価でできる仕組み作りを行ってはどうか。</p>
小坂委員	<p>酒々井町では住民票がないとリフォーム補助は受けられない。相続で別な場所に住まわれている方は対象外である。シェアハウスにするのが一つの手ではないか。酒々井町の一戸建ての賃貸の相場を考えると複数の人がシェアハウスを借りることでペイできると考える。</p> <p>報告書の特定空家等の要件について、条文ではいずれかが該当すれば、特定空家等に認定されると考えられ、誤解を招くような箇所があるので整理した方がよいのではないか。</p>
西口議長	<p>どれか一つに該当すれば、になるのではないか。</p>
事務局	<p>内容を確認し修正する。</p>
田村委員	<p>空き家バンクの現状として、佐倉市でも多くの登録があり、月 10 件程度のマッチングがあるようで、空き家バンクの活用は有効であると考え。計画書では、空き家バンクの説明がわかりやすい内容になっている。酒々井町では数件の登録があるようですが、宅建協会の会員を対象に今年の 8 月に空家対策の講習会を開き、人材を養成する動きがある。</p> <p>空家等を賃貸として活用する場合、高齢者や外国人をうまく利用すると有効といえることから、両者は、本来大家としては扱いづらいものだが、うまくできれば地域の売りになるのではと思う。</p>
西口議長	<p>高齢者は孤独死などもあるのでは。</p>
田村委員	<p>高齢者に対しては孤独死した場合の処理のための保険制度がある。これらの情報を家主に説明しておけばいいのではないか。行政としてもバックアップしていただければ。</p>
久保委員	<p>これまで空家等の利活用についてグループホームの話をさせていただいた中で、報告書にその内容が取り入れられており、空き家バンクに登録されたものを活用でき</p>

<p>小早稲委員</p> <p>西口議長</p> <p>事務局</p>	<p>るなど、この計画を踏まえて活用できればと思う。</p> <p>福祉の立場から孤独死をさせない社会づくりにわれわれも取り組み、不動産関係者との連携を図りながら進めていきたい。</p> <p>この報告書はよくできていると思う。酒々井町は小さな町でもあり、住宅団地計画が途中で中断しているようなところもありそうなので、再度まちづくりに取り組んでも良いのではないか。まち全体の活性化が大前提であり、全体のまちづくりと空家等対策を進めていきたい。年を取って、家を離れたり、子供が離れて暮らしていても、いつでも戻れる拠点を確保しておきたいと願っている人の話を聞く機会が増えている。簡単に家、土地を手放せないのも現状である。町内を見ると以前に比べて何箇所か停滞している地域もあることから、それらを含めて活性化を考えてもらいたい。</p> <p>皆様のご意見を頂いて、骨子は変えずに一部修正があると思いますが、全体としてはこの内容でいいということで、この会議を終わりにする。</p> <p>酒々井町空家等対策計画については、今年度中に町のホームページに公表する予定である。</p> <p>今回をもって、一旦、酒々井町空家等対策協議会を終了する。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別紙参照</p>